

平成29年11月7日 ホテルブリランテ武蔵野

【参加団体 45団体(2県、17市、18企業、5団体、2教授)】

埼玉県	神奈川県	弘前市	熊谷市	川口市	秩父市
千葉市	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	新潟市
甲府市	長野市	松本市	浜松市	磐田市	鈴鹿市
さいたま市	イオンリテール(株)	(株)HTM-JAPAN	(株)NTTデータ	カルソニックカンセイ(株)	クラリオン(株)
埼玉県 住まいづくり協議会	埼玉県 石油商業組合	(公財)さいたま市 産業創造財団	(株)SUBARU	住友三井 オートサービス(株)	大樹環境 システム(株)
(一社)CHAdemo 協議会	日産自動車(株)	(同)日本充電 サービス	日本信号(株)	パーク24(株)	本田技研工業(株)
美園タウン マネジメント協会	三井不動産 リアルティ(株)	(株)光岡自動車	三菱自動車工業 (株)	ヤマハ発動機(株)	リコージャパン(株)
東京工業大学 柏木孝夫特命教授			埼玉大学大学院 久保田尚教授		

【オブザーバー 5団体(2県、2市、1企業)】 【来賓(3省)】

愛知県	鳥取県	富山市
京都市	東京ガス(株)	

経済産業省	国土交通省	環境省
-------	-------	-----



テーマ「世界的な次世代モビリティの潮流」

◆E-KIZUNAサミットプレミアム宣言◆

2017年に入り欧州を中心に2040年までにガソリン車及びディーゼル車の製造・販売を禁止する方針が打ち出され、環境に配慮したEV(電気自動車)の普及が加速するのは確実な情勢となってきた。

またEVシフトのうねりはアジアにも及んでおり、インド政府は「2030年までに販売する車をすべてEVにする」との目標を表明し、中国でも追従する動きをみせるなど脱燃料車の機運が高まっている。我が国では、「未来投資戦略2017」において、「2030年までに乗用車の新車販売に占める次世代自動車の割合を5~7割とすることを目指す」との目標を掲げ、国をあげて次世代自動車の普及に取り組んでいる。

一方、こうしたEVの加速度的な普及は、充電器などのインフラ整備だけでなく、エネルギー政策全体にも関わる大きな問題にもなり得るものである。

そこで、これまで次世代自動車の普及促進に積極的な取り組みを行ってきた本サミット参加の産学官公各界が今こそ一丸となり、世界的なEV普及のスピードに後れを取らないためにも、我々、自治体及び産業界は、更なる制度面での連携や革新的技術開発に向け、新たな車とエネルギーの関係構築し、地球温暖化対策にも資する世界一の技術力をもって、次世代自動車の更なる普及や新たな価値の創造などに向けて、次のとおり宣言する。

1 EVを活用した電力融通等を通じた普及促進

EVは、充電した電気エネルギーを災害時に活用でき、また平時においても電力消費を制御するピークカットに貢献できるメリットがある。

特に自動車の運転時間については、約8割の方が1日あたり1時間30分以内であることに鑑み、日中使用していない電気自動車の車載蓄電池から系統への電力を融通する仕組みの開発など、EV・PHV(プラグインハイブリッド自動車)等の利用価値を高めるための取組を進めることで、大量普及を推進するものとする。

2 使用済車載蓄電池のリユース

世界的にEV普及機運が高まる中、将来的に大量に発生する廃蓄電池の再利用やリサイクルが課題となる。

今後のEV・PHVの大量普及を見据え、使用済車載蓄電池の再利用等を支える体制づくりなどに、官民の枠を超えて取り組んでいくものとする。

3 低炭素化に向けた革新的技術の開発

「地球温暖化対策計画」の中で設定した温室効果ガス削減「26%目標」を達成するためには、EVの航続距離延長に向けた革新的な蓄電池開発など、様々な取組が必要である。また、こうした技術は、災害時の大容量電源としての利用価値を高め、更にはエネルギーセキュリティの確保の面からも有効である。

こうした低炭素化に向けたエネルギー分野での革新的技術の開発に向けて、産・学・官・公がスクラムを組み推進していくものとする。

平成29年11月7日

E-KIZUNA サミットプレミアム参加者一同

平成29年11月7日

ホテルブリランテ武蔵野 : 延べ来場者数 378名

◆自治体×企業＝ビジネスマッチング

コラボ
 ファシリテーター：久保田尚氏（埼玉大学大学院教授）
 参加団体：19団体（1省10市7企業1教授）

環境省	弘前市	つくば市	熊谷市	相模原市	横須賀市
新潟市	長野市	松本市	浜松市	さいたま市	イオンリテール(株)
(株)HTM-JAPAN	クラリオン(株)	日産自動車(株)	日本信号(株)	(株)光岡自動車	リコージャパン(株)
埼玉大学大学院 久保田尚教授					

オブザーバー：3団体（1県2市）

愛知県	富山市	京都市
-----	-----	-----



◆基調講演

テーマ：「Society5.0に向けた次世代モビリティの重要性」
 講演者：柏木孝夫氏（東京工業大学特命教授）
 参加者：108名



◆サミットにおいて取組紹介を行った団体等

- ・経済産業省
- ・国土交通省
- ・環境省
- ・日産自動車(株)
- ・三菱自動車工業(株)
- ・(株)光岡自動車
- ・本田技研工業(株)
- ・ヤマハ発動機(株)
- ・イオンリテール(株)
- ・埼玉大学大学院（久保田尚教授）
- ・埼玉県
- ・さいたま市

◆自治体、企業等の取組紹介の展示（5団体）

横須賀市	イオンリテール(株)	東京ガス(株)	三菱自動車工業(株)	さいたま市
------	------------	---------	------------	-------



ホテルブリランテ武蔵野1階等試乗会場 : 試乗者数 81名

◆次世代自動車試乗会

E-Vino、Like-T3、
 こむぎっちカーミニ、
 アウトランダーPHEV、
 リーフ（自動駐車含む）
 プリウスPHV、MC-β



◆次世代自動車カフェ

クラリティ FUEL CELL
 （カフェへの給電デモ）

